

令和3年度事業分 坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略政策評価シート

1.<基本構想>

3 学ぶ意欲を支えるまちづくり							
数値目標	現状値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標値
コミュニティセンター 年間利用者数	430,930 人 (平成30年度)	224,555 人	275,001 人				450,000人 (令和6年度)
市立図書館年間来館者数	461,682 人 (平成30年度)	221,542 人	342,963 人				480,000人 (令和6年度)

2.<基本計画および方針と基本施策>

3-1 学校教育の充実							
<p>(1)【教育内容の充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○学校と地域が連携し、ふるさとへの愛着心を高める体験活動に取り組みます。</li> <li>○子どもたちの学校の居場所づくりや分かりやすい授業に努め、魅力ある学校づくりを推進します。</li> <li>○ICTを活用し、現代社会に必要なとされる情報活用能力を育成します。</li> </ul> <p>(2)【個に応じた学習支援の充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○習熟に応じて、少人数で指導することにより、学力向上に取り組みます。</li> <li>○気がかりな児童・生徒に対応した学級運営に取り組みます。</li> <li>○特別に支援が必要な児童・生徒の発達段階に応じ、適切に取り組みます。</li> </ul> <p>(3)【就学指導体制・教育相談体制の充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○いじめや不登校の兆しを早期に発見し、関係機関と連携して児童・生徒の支援に取り組みます。</li> <li>○就学による学校生活が円滑に移行できるよう、保育園等と小・中学校の連携を図ります。</li> <li>○教職員の業務負担を軽減するため適正な人員を配置し、授業の準備や研究のための時間を確保するとともに、教員の資質向上に取り組みます。</li> </ul> <p>(4)【安全な教育環境の整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○児童・生徒が安全に安心して学ぶことができる教育環境を整備します。</li> <li>○障がいをもつ児童・生徒に配慮した学習環境の確保を図ります。</li> <li>○省エネ機器の採用や自然環境に配慮した施設整備を推進します。</li> </ul> <p>(5)【安全で安心な学校給食の充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○安全で安心な学校給食の提供に取り組みます。</li> <li>○学校給食を通じて、地産地消、食の大切さや食文化などの食育に取り組みます。</li> </ul>							
重要業績評価指標 (KPI)	現状値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標値
大規模改修工事実施小学校数	毎年2校 (平成30年度)	2校	2校				毎年2校 (令和6年度)
学校へのタブレット端末 導入台数(累計)	200台 (平成30年度時点)	7,688台	7,888台				500台 (令和6年度末)
関連性の高いSDGsの17目標	4.質の高い教育をみんなに						

3.<具体的な事業とその実績>

No.	事業名	事業内容	所管課	
(1) -1	教育委員会運営事業	生涯学習、教育、文化、スポーツの振興など幅広い分野にわたる教育行政を一体的に推進するため、教育委員会および総合教育会議を開催します。	教育総務課	
	主な取り組み実績		予算(千円)	
	月1回の定例会および臨時会合わせて教育委員会を14回、また、総合教育会議を2回開催し、教育行政について協議を行いました。		決算(千円)	
			3,019	2,586

No.	事業名	事業内容	所管課
(1) -2	教育委員会事務局事業	教育行政を一体的に推進するため、教育委員会事務局全体の運営調整を図ります。	教育総務課
	主な取り組み実績		予算(千円) 決算(千円)
	教育行政全般にわたり運営調整を図るとともに、教育振興会等への支援を行い教育振興に取り組みました。また、新型コロナウイルス感染症に関しては、消毒液などの購入や清掃業務の委託により感染症拡大防止に努めました。		39,806 28,984
(1) -3	キャリア教育支援事業	職場体験や外部講師を招いての講演会を実施するなど、生徒が主体的に進路を選択できる能力や職業観を身に付けられるよう取り組みます。	学校教育課
	主な取り組み実績		予算(千円) 決算(千円)
	新型コロナウイルスの影響により、当初に計画していた外部の講師を招くことや職場体験を実施することが困難な状況でしたが、各中学校が創意工夫をしながら、生徒自身が坂井市の魅力や特徴、また自身の将来について考える機会を創出しました。		220 86
(1) -4	地域と進める体験推進事業(小学校教育振興事業)	児童が自らの地域の課題等を改善する体験学習を実施することで、郷土に誇りや愛着を持ち、新たな活力を生み出す人材を育成します。	学校教育課
	主な取り組み実績		予算(千円) 決算(千円)
	コロナ禍にあって、例年と同様の農業体験や地域との交流活動はできませんでしたが、各学校の創意工夫により規模の縮小や内容の見直しを行い事業に取り組みました。また、4校が県の「ふるさとの魅力発信推進事業」に取り組み、活動内容の発表の動画作成を行いました。		2,300 2,300
(1) -5	地域と進める体験推進事業(中学校教育振興事業)	生徒が自らの地域の課題等を改善する体験学習を実施することで、郷土に誇りや愛着を持ち、新たな活力を生み出す人材を育成します。	学校教育課
	主な取り組み実績		予算(千円) 決算(千円)
	コロナ禍にあって地域団体や企業との交流が難しいなかでも、各学校の創意工夫により規模の縮小や内容の見直しを行い、ふるさと活動や職業講座などさまざまな活動に取り組みました。また、1校が県のふるさとの魅力発信推進事業に取り組み活動内容の発表の動画作成を行いました。		600 600
(1) -6	ふれあい交流事業	様々な交流を通して、各地域の個性と特色を尊重するとともに自らの地域を再認識し、郷土に対する愛着や誇りの気持ちを持てるよう、子どもたち同士の交流、地域との交流、小中学校間の交流を促進します。	学校教育課
	主な取り組み実績		予算(千円) 決算(千円)
	新型コロナ感染症対策のため、昨年度に引き続き、市内小学校が参加して実施する連合運動会や音楽会を行うことができませんでしたが、スムーズな中学校生活を行うための6年生が中学校を訪問する小中連携事業については、全中学校で感染症対策をして実施しました。		3,802 624
(1) -7	小学校教育振興事業	ICTを活用した学習活動を行い、子どもたちの学びが充実するよう取り組みます。また、プログラミング教育への対応を図っていくとともに、児童の英語を活用したコミュニケーション能力の向上のために、外国語教育の充実を図ります。	学校教育課
	主な取り組み実績		予算(千円) 決算(千円)
	一人一台配布されたタブレット端末を活用するため、寄附市民参画の寄付金を活用してデジタルドリルや授業支援ソフト、AIロボットを導入し、個別最適化された学びに対応しました。		80,160 70,167
(1) -8	中学校教育振興事業	ICTを活用した学校教育活動を行い、子どもたちの学びが充実するよう取り組みます。また、課題を解決するための思考力、判断力、表現力などの能力を育むとともに、主体的に学習に取り組む姿勢を養い、個性を活かした教育の充実を図ります。	学校教育課
	主な取り組み実績		予算(千円) 決算(千円)
	一人一台配布されたタブレット端末を活用するため、寄附市民参画の寄付金を活用してデジタルドリルや授業支援ソフト、AIロボットを導入し、個別最適化された学びに対応しました。		45,662 44,225

No.	事業名	事業内容	所管課
(2) -1	学級運営支援事業	気がかりな児童生徒の学習支援を行うために学級サポーターを配置し、スムーズな学級運営を図る。また、学校生活に支障がある児童生徒の生活支援も行います。	学校教育課
	主な取り組み実績		予算(千円) 決算(千円)
	学習面や生活面で特別に支援を必要とする児童生徒のために、学級サポーターを配置し、対象となる児童生徒の学習支援と学級運営の円滑化が図られました。英語の教科指導員を配置することによって、特に小学校教員の英会話や授業の進め方のスキルアップにつながりました。		110,553 96,892
(2) -2	学力充実推進事業	学力調査を行うことにより、児童の確かな学力の分析を行い、授業改善に取り組み、高い学力の維持を図ります。	学校教育課
	主な取り組み実績		予算(千円) 決算(千円)
	例年、国が実施する学力調査の日程に合わせて坂井市学力テストを実施しました。テストの結果から研究や研修を実施し、授業改善に向けた取り組みが行われました。		2,230 2,115
(3) -1	学校運営支援事業	教職員の働き方改革、業務負担の軽減を図るため、今後も配置を希望する小中学校に学校運営支援員の配置を行います。	学校教育課
	主な取り組み実績		予算(千円) 決算(千円)
	教員の事務負担軽減のために学校運営支援員を配置し、児童生徒に配布するための教材のコピーや印刷等を行うことで、教員の多忙化解消が図られました。		7,488 6,413
(3) -2	教育相談事業	学校に行きたくても行けない児童・生徒に、個に応じた学習活動を進めながら心の安定を図り、学校復帰への援助を行うとともに、その保護者に対しても子どもへの理解や対応に関する教育相談を行います。	学校教育課
	主な取り組み実績		予算(千円) 決算(千円)
	不登校の児童生徒に対し、適応指導教室の指導員、訪問員が学校と連携して保護者支援や児童生徒の個別指導を行いました。		12,493 11,975
(3) -3	スクールソーシャルワーカー活用事業	社会福祉に関する専門的な知識を生かして、学校だけでは解決が難しい複雑化した事例に対して、関係機関と連携し、児童・生徒を取り巻く環境の改善に取り組みます。	学校教育課
	主な取り組み実績		予算(千円) 決算(千円)
	複雑な家庭の状況による児童生徒の問題行動など、学校対応が困難な事案は、スクールソーシャルワーカー2名が各学校と連携することにより、福祉関係機関に繋げるなど児童生徒本人やその家庭に対して支援を行いました。		5,005 5,000
(4) -1	小・中学校管理事業	小・中学生が充実した学校教育を受けることができる教育環境を整えるため、市内24小・中学校施設の適正な維持管理を行います。	教育総務課
	主な取り組み実績		予算(千円) 決算(千円)
	小・中学校の適正な維持管理に努めました。各小・中学校において、新型コロナウイルス感染症対策として、手指消毒の徹底や三密を避ける対策を図りながら、感染拡大防止に努めました。なお、コロナ関係予算(小中学校配当予算)を一部来年度へ繰越し、引続き感染拡大防止を図ります。		583,573 524,708
(4) -2	小・中学校施設整備事業	児童・生徒の安全・安心を確保し、災害に備えるために、建築後40年が経過し、かつ、以前の改修から20年を経過する学校等について計画的に施設の大規模改造工事を行います。	教育総務課
	主な取り組み実績		予算(千円) 決算(千円)
	教育環境の整備・改善のため、小学校2校(三国北小・明章小I期)の大規模改造工事を行いました。また、小学校1校(磯部小)の大規模改造工事、中学校5校の特別教室(美術室・家庭科室・技術室等)への空調設備設置工事に向けた実施設計業務委託を行いました。昨年度からの繰越事業として、小学校5校(三国南小・加戸小・三国西小・平章小・磯部小)のトイレの改修工事(乾式化・洋式化)を行いました。令和3年度から令和4年度への繰越事業として、小学校3校(雄島小・磯部小・明章小II期)の大規模改造工事、中学校5校の特別教室への空調設備設置工事などを施工します。		1,508,870 523,195

No.	事業名	事業内容	所管課
(4) -3	省エネ対策事業	エネルギー使用の合理化に関する法律（省エネ法）に基づき、特定事業者として、中長期計画書及び定期報告書の国への提出や説明会等への出席など、省エネに関する知識を習得し、意識を高めます。また、市内24小・中学校に設置したデマンド監視システムについて、各学校とデマンド値の設定協議を行い、省エネに対する理解と協力を得ながら教育環境を整えていきます。	教育総務課
	主な取り組み実績		予算（千円）
	デマンド監視システムを用いて、電力量の制御や省エネを図りました。近年は、省エネ対策を図りながらも、新型コロナウイルス感染症拡大防止を最優先とし、換気を行いながら授業を実施しました。		1,540
No.	事業名	事業内容	所管課
(5) -1	学校給食管理事業	給食センターと丸岡地区の自校式小学校との連携を図りながら、すべての児童生徒の豊かな心・健やかな体の育成に向け、栄養バランス等を考えた安全で安心な学校給食を提供します。また、地場産食材を使用した給食の提供に努め、地元の食文化への関心理解を深め、望ましい食習慣や幅広い知識の習得に向けた食育を行います。	学校教育課
	主な取り組み実績		予算（千円）
	学校給食費の保護者の年間負担額を半額とし、児童生徒の家庭の経済的な負担軽減を図りました。丸岡自校式や春江坂井学校給食センターにおける給食提供にあたっては、安全で安心な給食の提供のため、会計年度任用職員の確保等、安定した調理体制の確立を図りました。新型コロナウイルス感染症対策のため、栄養士や給食調理員を対象とした研修は実施できませんでしたが、調理場の衛生管理等の向上に努めました。		68,742
No.	事業名	事業内容	所管課
(5) -2	三国学校給食管理事業	全ての児童生徒の豊かな心・健やかな体の育成に向け、栄養バランス等を考えた安全で安心な学校給食を提供します。また、地場産食材を使用した給食の提供に努め、地元の食文化への関心理解を深め、望ましい食習慣や幅広い知識の習得に向けた食育を行います。	学校教育課
	主な取り組み実績		予算（千円）
	中学校1校、小学校9校、幼保園等4園の計14施設に給食を提供しました。地元の野菜、甘えび、もみワカメ、白茎ごぼう等、地場産や特産の食材を取り入れた献立を作成し、関連する知識や情報の提供を行いました。なお、令和3年度の地場産食材の使用率は、56.9%でした。また、SDGsの取組として、調理方法や量の調整等による対策の外、学校等での食育を通して食品ロスの削減に努めました。		290,507
No.	事業名	事業内容	所管課
(5) -3	春江坂井学校給食センター管理事業	全ての児童生徒の豊かな心・健やかな体の育成に向け、栄養バランス等を考えた安全で安心な学校給食を提供します。また、地場産食材を使用した給食の提供に努め、地元の食文化への関心理解を深め、望ましい食習慣や幅広い知識の習得に向けた食育を行います。	学校教育課
	主な取り組み実績		予算（千円）
	中学校2校、小学校4校、幼保園等2園の計8施設に給食を提供しました。地元の白茎ごぼうやらっきょう、地場産の食材を取り入れた献立を作成し、関連する知識や情報の提供を行いました。なお、令和3年度の地場産食材の使用率は、53.5%でした。また、SDGsの取組として、学校等での食の大切さや食文化への関心理解を深める食育に努めました。		248,567

4.<基本計画に対する現状と課題および展開（具体的な事業の実績を踏まえて）>

<p>現状と課題 および展開</p>	<p>(1)【教育内容の充実】          【教育総務課】令和3年度に導入したタブレット端末を利用した授業が増えていく中、ケーブル回線から光回線への変更により通信速度を強化し、授業に支障が出ないように対応しました。今後は、特別教室等でもWi-Fi環境が活用できるようアクセスポイントの増設が必要となります。          【学校教育課】授業支援ソフトを導入し、GIGAスクール構想による児童生徒一人一台整備されたタブレット端末を活用した「主体的・対話的で深い学び」の実践を図りました。また、市内全小中学校に教育用AIロボットを配備し、子どもたちに先進的な学びの機会の創出を図りました。今後、タブレット端末を活用して、家庭へ持ち帰り学習を行うための対応や子どもたちの学びに有効となる活用を進めるとともに、情報モラル教育にも取り組む必要があります。また、教職員のICTリテラシーの向上を図るとともにICT活用による業務負担の軽減の取り組みが必要となります。</p> <p>(2)【個に応じた学習支援の充実】          【学校教育課】一人一台タブレットを活用したデジタルドリルを導入するとともに、中学校では、習熟度別学習を行う等、個別最適化された学びの推進を図りました。今後も新たなICT環境の活用、きめ細やかな指導体制の整備を進め、「個に応じた指導」を充実していくことが必要です。</p> <p>(3)【就学指導体制・教育相談体制の充実】          【学校教育課】不登校については、年々増加傾向にあるため、児童生徒の自己肯定感・自己有用感を高めることにより、不登校の未然防止につながるよう引き続き支援します。また、全ての児童生徒にとって「通うのが楽しい学校」となるよう、児童生徒が抱える様々な問題に迅速・適切に対応できるよう関係機関と連携を取りながら、就学指導体制・教育相談体制の充実に向けて支援を行います。</p> <p>(4)【安全な教育環境の整備】          【教育総務課】小学校の大規模改造工事について、三国北小と明章小の工事、雄島小の設計を計画に基づき実施しました。改修工事については、令和4年度以降も計画的に毎年2校程度の工事・設計を行って行く予定で、令和4年度については、令和3年度から令和4年度への繰越事業として、小学校3校（雄島小・磯部小・明章小Ⅱ期）の大規模改造工事を行う予定です。また、中学校5校の特別教室（美術室・家庭科室・技術室等）への空調設備設置工事などを行い、安全で快適な教育環境の整備を図っていきます。          現在の学校施設整備計画は令和7年度までの計画となっていますので、令和8年度以降の計画の策定に向け、令和4年度中に施設の現状等についての確認作業を実施する予定です。併せて、老朽化が進んでいる学校プールや、丸岡地区の自校式給食室等の今後の方針について、今後の児童生徒数の減少や、地域における役割なども考慮しながら、再確認・検討していく必要があります。          国の補助メニュー「大規模改造工事（老朽）」が令和4年度をもって終了し、令和5年度以降は、長寿命化事業」を活用することになります。これに伴い、改修工事の内容も若干変更となります。</p> <p>(5)【安全で安心な学校給食の充実】          【学校教育課】すべての児童生徒に安全で安心なおいしい学校給食の提供に努めました。令和3年度は、学校給食費の保護者の年間負担額を半額とし、児童生徒の家庭の経済的な負担軽減を図りました。令和4年度は、家庭の負担軽減を図るため引き続き半額とします。今後も食材料費の価格上昇を鑑みた給食費の改定を行うとともに、保護者負担の軽減の内容についても継続して検討する必要があります。丸岡自校式や春江坂井学校給食センターにおける給食提供にあたっては、安全で安心な給食の提供のため、臨時職員の確保等、安定した調理体制の確立を図っているところです。これから、正職調理員の減少と丸岡自校式の施設・設備の老朽化や児童生徒数の減少を見据えた自校式給食および民間委託の在り方、給食センターの配送校の見直し、春江坂井学校給食センターの調理業務の民間委託について、検討を進める必要があります。</p>
------------------------	--

5.<基本計画に向けた令和4年度から令和6年度間（第2次総合計画前期期間）の具体的な事業の方向性>

No.	事業名	所管課	事業毎効果	今後の方向性
(1)-1	教育委員会運営事業	教育総務課	効果あり	継続
(1)-2	教育委員会事務局事業	教育総務課	効果あり	継続
(1)-3	キャリア教育支援事業	学校教育課	効果あり	継続
(1)-4	地域と進める体験推進事業(小学校教育振興事業)	学校教育課	効果あり	継続
(1)-5	地域と進める体験推進事業(中学校教育振興事業)	学校教育課	効果あり	継続
(1)-6	ふれあい交流事業	学校教育課	効果あり	継続
(1)-7	小学校教育振興事業	学校教育課	将来的な効果あり	拡充
(1)-8	中学校教育振興事業	学校教育課	将来的な効果あり	拡充
(2)-1	学級運営支援事業	学校教育課	効果あり	拡充
(2)-2	学力充実推進事業	学校教育課	効果あり	継続
(3)-1	学校運営支援事業	学校教育課	効果あり	継続
(3)-2	教育相談事業	学校教育課	効果あり	継続
(3)-3	スクールソーシャルワーカー活用事業	学校教育課	効果あり	継続
(4)-1	小・中学校管理事業	教育総務課	効果あり	継続
(4)-2	小・中学校施設整備事業	教育総務課	効果あり	継続
(4)-3	省エネ対策事業	教育総務課	将来的な効果あり	継続
(5)-1	学校給食管理事業	学校教育課	効果あり	継続
(5)-2	三国学校給食管理事業	学校教育課	効果あり	継続
(5)-3	春江坂井学校給食センター管理事業	学校教育課	効果あり	継続

令和3年度事業分 坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略政策評価シート

1.<基本構想>

3 学ぶ意欲を支えるまちづくり							
数値目標	現状値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標値
コミュニティセンター 年間利用者数	430,930 人 (平成30年度)	224,555 人	275,001 人				450,000人 (令和6年度)
市立図書館年間来館者数	461,682 人 (平成30年度)	221,542 人	342,963 人				480,000人 (令和6年度)

2.<基本計画および方針と基本施策>

3-2 社会教育・生涯教育の充実							
<p>(1)【社会教育と地域づくりの活動の一体的な推進】</p> <p>○一人一人が自己の教養を深め自己実現が図れるよう、生涯学習機会の充実に取り組み、誰もが豊かな人生を送ることができる社会づくりを推進します。</p> <p>○地域やNPO法人、ボランティア団体、大学等と連携を図り、よりよい生活や地域を創る学習活動を推進します。</p> <p>○子どもと大人がふれあう講座の実施など世代を越えた交流を促進し、子どもたちの共生する力を育みます。</p> <p>(2)【コミュニティセンターを拠点とした集い・学び・結ぶ環境づくり】</p> <p>○コミュニティセンター内にカフェなど憩いのスペースを設置し、市民がふれあう地域コミュニティの場を提供します。</p> <p>○さまざまなアプローチによるまちづくりに繋がる講座等を実施し、学習と交流の場を提供します。</p> <p>○地域の特性を活かし、シビックプライドの醸成を図る催し等を実施します。</p> <p>○各々が描くまちづくりを実現するため、個人またはグループの活動を支援します。</p> <p>(3)【地域で育て・見守り・支える青少年の育成】</p> <p>○市内の豊かな自然に触れ合う体験活動等を提供し、健やかな心身を持つ青少年を育成します。</p> <p>○小学生が地域の施設に宿泊し通学する事業などを通じて、自立性・自主性・協調性を育みます。</p> <p>○学校と地域が連携強化し、見守り活動や青少年の非行防止活動、家庭教育支援の充実に図り、地域全体で子どもや家庭を見守り育てるための環境づくりを進めます。</p> <p>(4)【図書館機能の充実】</p> <p>○教育・文化に関する領域に留まらず、市民の暮らしや社会に役立つ情報を提供します。</p> <p>○子どもたちの読書普及活動を推進します。</p> <p>○高齢者や障がいを持つ人が利用しやすい読書環境を整備します。</p> <p>○記念文庫内の貴重な資料の適正な保存管理に努めます。</p>							
重要業績評価指標 (KPI)	現状値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標値
コミュニティセンターで開催された講座数	332講座 (平成30年度)	288講座	290講座				350講座 (令和6年度)
コミュニティセンターで開催された講座の参加者数	24,262人 (平成30年度)	11,217人	12,235人				26,000人 (令和6年度)
市立図書館貸出冊数	860,183 冊 (平成30年度)	622,630 冊	817,456 冊				880,000冊 (令和6年度)
関連性の高いSDGsの17目標	4.質の高い教育をみんなに						

3.<具体的な事業とその実績>

No.	事業名	事業内容	所管課			
(1)-1	放課後子ども教室事業	地域の参画を得て、ノウハウを共有しながら、すべての児童に対して放課後等に多様な体験活動を提供し、居場所づくりと次代を担う人材育成を図ります。	生涯学習スポーツ課			
	主な取り組み実績		<table border="1"> <tr> <th>予算 (千円)</th> <th>決算 (千円)</th> </tr> <tr> <td>2,250</td> <td>1,608</td> </tr> </table>	予算 (千円)	決算 (千円)	2,250
予算 (千円)	決算 (千円)					
2,250	1,608					
共働きの多い県下、子どもだけで過ごすであろう放課後や週末などの時間を利用し、様々な体験や活動の機会を提供するため、各コミュニティセンターで学習補助や、茶道・書道・太鼓など文化芸術の体験、世代間で交流できる門松づくりなど、地域のボランティアの協力を得ながら「放課後子ども教室」を実施。子どもたちの安全・安心な居場所の確保ができた。						

No.	事業名	事業内容	所管課
(2)-1	コミュニティセンター運営事業	コミュニティセンター講座、リレー講座など、地域の誇りやニーズに沿った講座を開催し、生涯学習の機会を提供することに加え、地域間の交流を促進します。また、コミュニティセンターに憩いのスペースを設置し、気軽に利用できる施設運営を行います。	まちづくり推進課
	主な取り組み実績		予算(千円) 決算(千円)
	市内26箇所のコミュニティセンターにおいて、住民ニーズを把握しながら講座を実施しました。また、新型コロナ禍においてもコミュニティセンターの機能を低下させないようYouTube発信によりコミセン講座を開講しました。さらに、高齢者にニーズの高いスマホ決裁やパソコン教室など、デジタル化社会における講座の充実を図りました。		7,656 5,407
No.	事業名	事業内容	所管課
(2)-2	社会教育団体補助事業	社会教育団体の活動を支援し、その運営基盤の強化を図り、持続可能な社会教育の推進を図ります。	生涯学習スポーツ課
	主な取り組み実績		予算(千円) 決算(千円)
	女性の会をはじめとする7つの社会教育団体の活動・運営を支援するとともに、組織の育成さらに社会教育の推進を図ることができた。		1,840 1,532
No.	事業名	事業内容	所管課
(2)-3	市民運動推進事業	地域での花壇づくり等市民の自主的かつ創意的に取り組む活動を支援し、住みよいふるさとづくりの推進を図ります。	生涯学習スポーツ課
	主な取り組み実績		予算(千円) 決算(千円)
	市民運動の実践に日頃たゆまぬ努力を続け他の模範となる個人や団体の優良実践者を表彰、また子どもから大人まで取り組める花壇づくりを推進し、コンクールを実施することで、ふるさとへの愛着を深めるとともに、地域の活性化を推進できた。		340 340
No.	事業名	事業内容	所管課
(2)-4	子ども会育成事業	幼少年期から家庭や学校以外の地域の大人と関わる機会を提供し、地域に根ざした活動体験を通して、子どもの健やかな成長と青少年のリーダーとなる人材育成を推進します。	生涯学習スポーツ課
	主な取り組み実績		予算(千円) 決算(千円)
	新型コロナウイルス感染症拡大状況により、今年度も各子ども会活動が制限されたが、中でも壁新聞コンクールでは身近なものにテーマを置き、自分の住む地域のことを調査し改めて知り、周知することで地域に根ざした活動ができたほか、ジュニアリーダーズクラブは市内小学校の校外行事に積極的に携わり、青少年のリーダーとして役割を發揮できた。		2144 1702
No.	事業名	事業内容	所管課
(2)-5	成人式事業	市として新成人の門出を祝福し、成人としての自覚と心構えを促すとともに、ふるさと坂井市への想いを高め、地元での活躍や地域貢献への醸成を図ります。	生涯学習スポーツ課
	主な取り組み実績		予算(千円) 決算(千円)
	昨年度より実施を3月に、また2部制にて式典等の時間を短縮し、新成人が安心して参加しやすい体制でのぞむとともに、短い時間でも楽しんでもらえるような内容で実施できた。		1345 1227
No.	事業名	事業内容	所管課
(3)-1	わんぱく少年団事業	坂井市の自然を体験・体感して楽しめる魅力あるプログラム(キャンプや磯観察等)を設定し、元気で心豊かな少年を育成します。	生涯学習スポーツ課
	主な取り組み実績		予算(千円) 決算(千円)
	新型コロナウイルス感染症拡大状況によりすべてのカリキュラムを実施できなかったが、坂井市の自然を季節ごとに体験できるトレッキングや磯観察・SUPなど、心が豊かになる体験の機会を与えることができた。また、ジュニアリーダーズクラブにスタッフとして加わってもらうことで、青少年のリーダー育成を推進できた。		463 179
No.	事業名	事業内容	所管課
(3)-2	坂井・延岡ジュニア交流事業(体験型交流による子どもの育成)	宮崎県延岡市との姉妹都市交流事業の一環として、PTAの関係者並びに地域のボランティア等が両市の児童と体験学習を通じて、地域で子どもたちを育てる意識の高揚を図る。	生涯学習スポーツ課
	主な取り組み実績		予算(千円) 決算(千円)
	新型コロナウイルス感染症拡大状況から、今年度の延岡市児童の招へい事業は実施できなかった。代替事業として、リモート交流を実施。日向国延岡城主の有馬家が丸岡に移封した際に広められたことから、長畝日向神楽保存会の児童と延岡市で募集した児童が、お互いの文化や歴史・伝統工芸品の紹介(坂井市は日向神楽と三国提灯、延岡市はのぼりざる)、作成した品を交換し合い、姉妹都市となったことを再確認できた。		674 25



No.	事業名	事業内容	所管課
(3)-3	合宿通学事業	家庭を離れ合宿生活を体験することで、日常における家族への感謝の気持ちや自主性、協調性を育てます。また、地域の方々の協力のもと、子どもと地域の結びつきを図ります。	生涯学習スポーツ課
	主な取り組み実績		予算(千円) 決算(千円)
	昨年度に引き続き「防災合宿」として、避難所の体験として段ボールベッドやテントを組み立てて宿泊したり非常食の調理体験や防災学習など、防災をテーマとした合宿を実施した。赤十字奉仕団の協力のほか、まちづくり協議会や更生保護女性会、食生活改善推進員など地域のボランティアも加わり、子どもと地域の結びつきを図ることができた。また、今年度から「コミセンde防災合宿」事業を展開。坂井木部まちづくり協議会が木部小学校児童と防災合宿を実施。警報が鳴ったら屋上にあがる経路や、過去の地図を確認するなど、地域主催ならではの充実した内容の防災合宿となった。		1,315 511
(3)-4	心の家庭教育支援事業	家庭教育支援員による子どもとの会話や保護者からの相談業務を通じて、子育てに必要な情報や手法を提供するとともに、学校等と連携し、さまざまな角度から家庭教育の支援に取り組みます。	生涯学習スポーツ課
	主な取り組み実績		予算(千円) 決算(千円)
	家庭教育支援員が、小学校の相談室に向向き子どもの話を聞いたり、就学説明会では保護者に対する相談の時間を設けることで、保護者の不安を軽減する機会を作ることができた。また、定期的に広報誌を配布し取り組みや相談できる機関があることを周知できた。		1594 1190
(3)-5	青少年育成坂井市民会議事業	地域における、見守り活動や挨拶運動など、子どもたちが安心して生活できる環境づくりに取り組み、次代を担う青少年の健全な育成を図ります。	生涯学習スポーツ課
	主な取り組み実績		予算(千円) 決算(千円)
	各支部において、登下校時の見守り活動やあいさつ運動を毎日実施することで、子どもたちが安心して生活できる環境づくりに取り組んだ。また登下校の時間にとらわれず、自分の生活活動の時間を利用して子どもたちや地域を見守る「いきいき見守り隊」を募集し、現在38名が登録し各々の活動の中で目的を達成できた。		2126 1848
(4)-1	子どもの読書活動推進事業	お話し会や、ブックスタート事業、講演会などを通して、子どもが本と出会う機会をつくります。また、読み聞かせボランティアの育成や支援に努めます。	図書館
	主な取り組み実績		予算(千円) 決算(千円)
	子どもが本に親しみを持てるよう、ブックスタートや小学校への配本などを継続しています。また、ロングセラー絵本の複製画展など、コロナ禍でも開催可能なイベントにシフトし、子どもの読書普及に努めました。		2,121 1,439
(4)-2	図書館サービス事業	地域における生涯学習の場として、高齢者や障がいを持つ人も図書館を円滑に利用できるようきめ細やかな対応に努めます。	図書館
	主な取り組み実績		予算(千円) 決算(千円)
	各館で暮らしや趣味等に役立つ資料・情報を集める他、市内4館のネットワークを活かした配本や県内外の図書館と相互貸借を行いました。また、使いやすさと快適な環境づくりのため、2館で照明LED化工事を施工しました。		159,521 157,945
(4)-3	記念文庫運営事業	偲ぶつどいや講演会などを開催するとともに、記念文庫内資料の適切な保存管理を行い、郷土にゆかりのある文学や歴史を継承していきます。	図書館
	主な取り組み実績		予算(千円) 決算(千円)
	今川節の部屋展示品の楽譜のレプリカを制作し、一次資料の長寿化を図るとともに、中野文庫、小葉田文庫の保存整理を行いました。また、歴史講演会は、感染予防のため人数を制限し開催しました。		2,396 2,145

4.<基本計画に対する現状と課題および展開（具体的な事業の実績を踏まえて）>

現状と課題 および展開	<p>(1)【社会教育と地域づくりの活動の一体的な推進】 (生涯学習スポーツ課) 従来のわんぱく少年団は特定の参加者に限られていたため、市内の全子ども達を対象に「いつでも・どこでも・誰とでも」自然体験を享受することができるよう、寄附市民参画制度の活用により拡大版「わんぱく王国事業」を創設する。市内の海・山・川を活用した年間を通した自然体験を提供していく外、本事業に参画する事業所、団体、グループの活性化を図り、参画団体の相互の連携も促進することで、自然体験型の地域づくりを創出することができる。将来的には大人の自然体験事業やスポーツツーリズムによる県外客の誘客にも繋げることができると思う。</p>
	<p>(2)【コミュニティセンターを拠点とした集い・学び・結ぶ環境づくり】 (まちづくり推進課) インターネットWi-Fi環境の整備が整い、いつでもどこでも受講可能な講座を実施しました。IT化、デジタル化を見据えた講座の企画や、社会教育との連携により学習と地域づくりを融合し、地域のニーズや課題を把握しながら、よりよい社会教育・生涯教育の充実を図ってまいります。また、施設利用料等のキャッシュレス化や施設利用状況のWEB化が整いました。今後改修される施設予約サービスにおいて、インターネット予約から決裁に至るまで、利用者のサービス向上を図ってまいります。 (生涯学習スポーツ課) 協働のまちづくりを推進するため、公民館のコミセン化移行後は社会教育による学びを地域づくりに還元できる取組みを行ってきた。例えば、市民運動における花壇づくりでは、まちづくり協議会主催による花壇づくり講習会実施され、地域の大型花壇の造成や市民の花プランターづくりに寄与している。そこで、令和4年度からはコミセン主事の一部が「社会教育士」を担うことから、生スポ課所管である「社会教育指導員」と社会教育士が連携して、従来の放課後子ども教室や合宿通学、子ども会事業をはじめ「はたちのつどい（成人式）」等にも地域づくりの視点を加えた内容にしていきたいと考える。</p>
	<p>(3)【地域で育て・見守り・支える青少年の育成】 (生涯学習スポーツ課) 見守り活動では見守り隊員の高齢化が顕著であることから、昨年創設した準会員制度「いきいき見守り隊」の浸透を図り、地域全体による充実を図っていく。また、合宿通学も市が主催するローテーションによる実施だけでなく、まちづくり協議会等地域団体の協力を得て、地域の教育力と地域の特徴を生かした取り組みも行う。</p>
	<p>(4)【図書館機能の充実】 (図書館) コロナ禍で昨年度より来館者数、貸出冊数の数値が低迷していますが、徐々に戻りつつあります。感染予防に対応したイベントやサービス等で、来館者数480,000人、貸出冊数880,000冊に向けて、今後も子どもの読書普及やきめ細やかで円滑なサービスに努めます。また、順次LED化を進めており、令和2年度には春江図書館、令和3年度には坂井図書館と丸岡図書館のLED化を実施しました。令和4年度には三国図書館のLED化を含めた改修工事を予定しています。今後も利用者の利便性の向上に努めてまいります。</p>

5.<基本計画に向けた令和4年度から令和6年度間（第2次総合計画前期期間）の具体的な事業の方向性>

No.	事業名	所管課	事業毎効果	今後の方向性
(1)-1	放課後子ども教室事業	生涯学習スポーツ課	効果あり	継続
(2)-1	コミュニティセンター運営事業	まちづくり推進課	効果あり	継続
(2)-2	社会教育団体補助事業	生涯学習スポーツ課	効果あり	継続
(2)-3	市民運動推進事業	生涯学習スポーツ課	効果あり	継続
(2)-4	子ども会育成事業	生涯学習スポーツ課	効果あり	継続
(2)-5	成人式事業	生涯学習スポーツ課	効果あり	継続
(3)-1	わんぱく少年団事業	生涯学習スポーツ課	効果あり	継続
(3)-2	坂井・延岡ジュニア交流事業(体験型交流による子どもの育成)	生涯学習スポーツ課	効果あり	継続
(3)-3	合宿通学事業	生涯学習スポーツ課	効果あり	継続
(3)-4	心の家庭教育支援事業	生涯学習スポーツ課	効果あり	継続
(3)-5	青少年育成坂井市民会議事業	生涯学習スポーツ課	効果あり	継続
(4)-1	子どもの読書活動推進事業	図書館	将来的な効果あり	継続
(4)-2	図書館サービス事業	図書館	小さい効果	継続
(4)-3	記念文庫運営事業	図書館	将来的な効果あり	継続

令和3年度事業分 坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略政策評価シート

1.<基本構想>

3 学ぶ意欲を支えるまちづくり							
数値目標	現状値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標値
コミュニティセンター 年間利用者数	430,930 人 (平成30年度)	224,555 人	275,001 人				450,000人 (令和6年度)
市立図書館年間来館者数	461,682 人 (平成30年度)	221,542 人	342,963 人				480,000人 (令和6年度)

2.<基本計画および方針と基本施策>

3-3 歴史・文化・芸術の伝承と振興							
<p>(1)【文化財の保存と活用】</p> <p>○地域にある文化財の掘り起こしや調査を行い、保存活動を進めるとともに、文化財を活用した地域活性化を図るため「坂井市文化財保存活用地域計画」を策定し、まちづくりや学校教育、社会教育、観光分野とも連携した活用に取り組みます。</p> <p>○三国祭や舟寄踊、日向神楽などの地域に残る無形文化財を後世に伝承するため、活動の記録・保存とともに、文化継承の担い手の確保や育成を支援します。</p> <p>○丸岡城の学術調査の成果をもとに、市民と文化財としての価値を共有するとともに、丸岡城天守や周辺部「城郭・丸岡城」の文化財としての価値の確立と観光資源としての評価の向上に取り組みます。</p> <p>○六呂瀬山古墳群をはじめ、埋蔵文化財の保存・出土品等の保存整理と公開活用に必要な施設整備等に取り組みます。</p> <p>○みくに龍翔館については、歴史文化遺産に関する資料を収集・保存・調査研究・展示活用する博物館機能を強化するとともに、観光と連携した情報発信機能を高め、交流人口の拡大を図る拠点となるよう取り組みます。</p> <p>(2)【文化芸術活動の振興】</p> <p>○坂井市文化協会をはじめとする文化団体の活動や後継者育成に対する支援に努めます。</p> <p>○文化ホールを市民の文化活動の拠点として広く活用してもらうため、各施設の機能や特性を活かし利用促進を図っていきます。</p> <p>○一筆啓上日本一短い手紙の館は、「一筆啓上賞」を核に地域に根ざした手紙文化を広く発信していくとともに、手紙に触れる機会を通して郷土に対する誇りや愛着を深めてもらえるよう、学校や地域との連携を図っていきます。</p> <p>○優れた芸術作品に触れる機会を創出し、市民の文化・芸術に関する感性と創作意欲の向上を図ります。</p>							
重要業績評価指標 (KPI)	現状値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標値
丸岡城入場者数	128,158人 (平成30年度)	69,616人	65,753人				150,000人 (令和6年度)
みくに龍翔館来館者数 (館外活動参加者等を含む)	11,166人 (平成30年度)	5,516人	—				30,000人 (令和6年度)
関連性の高いSDGsの17目標	4.質の高い教育をみんなに			11.住み続けられるまちづくりを			

3.<具体的な事業とその実績>

No.	事業名	事業内容	所管課
(1)-1	地域計画作成事業	歴史・文化を活かしたまちづくりを計画的・継続的に推進するため、文化財の保存・活用に関する総合的な計画を作成します。	文化課
	主な取り組み実績		予算(千円) 決算(千円)
	地域計画作成最終年度として、計画を作成しました。6月、11月、2月に協議会を開催し、計画についての協議を行いました。計画の周知と文化財の掘り起こし、地域の文化財の魅力を伝えることを目的として、ワークショップを2回、公開フォーラムを1回開催しました。また、パブリックコメントの募集も行い、広く市民からの意見を聞き、計画への反映にも努めました。7月の国の認定への申請に向けて計画の内容を精査し、本文、資料編、概要版を作成しました。		4,756 4,342
No.	事業名	事業内容	所管課
(1)-2	文化財保存管理事業	文化財の保存管理に必要な措置を講じていくとともに、市民への公開や活用を通して文化財保護意識の啓発を行います。	文化課
	主な取り組み実績		予算(千円) 決算(千円)
	県指定文化財の紀倍神社のオニヒバの治療や、市指定文化財の豊原寺木造薬師如来坐像の修理等に補助を行いました。体験学習の勾玉作りでは、1日2回の開催で合計15人の参加者がありました。また、市有の出世山古墳公園では、フェンス・電灯の修繕、定期的な除草や枝打ちを実施し、適切な維持管理を行いました。市有の丸岡城天守では、耐震対策工事の設計を委託することで、今後必要な工事詳細を把握することができました。		27,233 21,310

No.	事業名	事業内容	所管課
(1) -3	埋蔵文化財発掘調査事業	市内に分布する埋蔵文化財包蔵地に支障をきたさないよう、工事施工業者への周知に心がけるとともに、適切な指導・助言に努めています。	文化課
	主な取り組み実績		予算(千円) 決算(千円)
	六呂瀬山1号墳の発掘調査を10月に実施し、委員会を1回開催しました。また、令和2年度までの調査成果をまとめ、市としては初めての六呂瀬山古墳群発掘調査報告書を作成しました。埋蔵文化財発掘届出書は173件の届出見込であり、届出に伴う試掘調査は13回実施しました。		6,580 5,121
(1) -4	丸岡城国宝化推進事業	調査成果の周知広報を通して、丸岡城の文化財的価値の向上を図ります。また、引き続き丸岡城の学術的調査を継続するとともに、調査で収集した資料を広く公開するよう、報告書やパンフレット等を作成して教育普及に努めます。	文化課 (丸岡城国宝化推進室)
	主な取り組み実績		予算(千円) 決算(千円)
	丸岡城城主であった柴田氏～本多氏までの時代における古文書・古記録や丸岡城の歴史を知る上で重要な資料をまとめた丸岡城学術調査資料集第2集の刊行や、丸岡城に関するリーフレット「知られざる丸岡城」の刊行により、調査成果を広く公開しました。		8,095 7,520
(1) -5	みくに龍翔館管理運営事業	坂井市の歴史、自然及び文化についての関心を高め、健全な教育、学術および文化の発展に寄与するとともに、歴史的文化遺産を市民共有の財産として適正に収集、保管、展示し、これらの資料に関する調査及び活用を図る。	文化課
	主な取り組み実績		予算(千円) 決算(千円)
	みくに龍翔館は、令和2年11月から令和5年春まで、改修工事のため休館しています。令和3年度は、仮事務所の運営と、資料保存施設の管理を行いました。		16,636 15,192
(1) -6	みくに龍翔館改修整備事業	多様性と共通性をもった各地域からなる坂井市全体の歴史文化のハブとなる博物館として整備をすすめます。また、地域に点在する資源を集積・保存・活用し、魅力的な展示や事業を展開、来館者や市民の誰もが坂井市の歴史や風土・文化をあらためて認識する機会をつくるとともに、シビックプライドの醸成にも努めます。	文化課
	主な取り組み実績		予算(千円) 決算(千円)
	令和3年度は施設改修工事(建築、電気、機械)を行いました。展示製作は令和3年度・4年度の2ヶ年で実施しており、令和3年度は展示構成の詳細な内容作成を行いました。今後は展示コンテンツの製作と現場設置を行い、令和5年春のオープンに向けて各種準備を進めてまいります。		838,252 815,048
(1) -7	みくに龍翔館資料収集・保存事業	坂井市の豊かな歴史文化遺産に関する資料を収集し、その散逸を防ぎ、未来への遺産として後世に引き継ぎます。	文化課
	主な取り組み実績		予算(千円) 決算(千円)
	みくに龍翔館改修工事に伴い、館外へ移設した収蔵資料の保存管理を継続しました。また、新常設展示のための資料修繕(三国祭山車人形、船絵馬)も実施しており、令和4年度には完了予定です。さらに、新収蔵資料21件(168点)の受け入れと資料登録を行いました。		8,208 7,687
(1) -8	みくに龍翔館調査研究事業	収蔵資料および展示資料等の調査研究を進め、坂井市の歴史や文化に関する研究拠点としていきます。	文化課
	主な取り組み実績		予算(千円) 決算(千円)
	展示製作の設計をもとに展示アドバイザーや専門家の指導のもと、新常設展示の具体的な内容について調査研究を進めました。そして、資料その他展示コンテンツの選定を行い、施設改修工事にも展示内容を反映させました。		1,864 1,298
(1) -9	みくに龍翔館展示および教育普及事業	博物館施設として基盤となる資料収集、調査研究の成果を還元・反映し、坂井市の風土、歴史・文化をわかりやすく魅力的に伝え、市民や来館者が「楽しく学べる場」を目指します。	文化課
	主な取り組み実績		予算(千円) 決算(千円)
	みくに龍翔館は、令和2年11月から令和5年春まで、改修工事のため休館しています。リニューアルオープン後の企画運営について、内容の検討を進めております。		91 72

No.	事業名	事業内容	所管課
(1) -10	みくに龍翔館観光連携事業	館に多く収蔵される日本遺産「三国湊」の構成文化財や、東尋坊などの観光資源に恵まれた立地条件を活かし、来館者の誘致拡大を図るとともに、丸岡城をはじめとした市内観光地へと誘導していきます。また、観光と連携した情報発信機能を高め、交流人口の拡大を図る拠点となるよう取り組み	文化課
	主な取り組み実績		予算(千円)
	観光情報コーナーやミュージアムショップについて、関係者などの意見聴取を行い、リニューアル後の観光連携のあり方について検討を進めております。		11
(2) -1	文化活動支援事業	日頃の活動成果を発表する文化祭の開催を支援し、文化活動に対する市民の積極的な参加を推進します。また、文化ホールで開催する様々な舞台芸術公演を支援し、文化に触れる機会を提供します。	文化課
	主な取り組み実績		予算(千円)
	文化祭は、新型コロナウイルス感染症拡大防止策を徹底して開催し、昨年度を上回る来場者数となりました。公演事業では、様々なジャンルのアーティストの公演や地元出身の音楽家によるコンクール、演劇教室MAFFによる中高生演劇ワークショップ等に取り組みました。支援事業では2件申請があり、いずれの公演も盛況でした。		22,200
(2) -2	一筆啓上手紙の館管理運営事業	一筆啓上賞を市内外に発信する施設として、手紙にまつわる様々な企画に取り組みます。また、丸岡城と一体化した来館者の取り込みを図るとともに、市のPRにつなげていきます。	文化課
	主な取り組み実績		予算(千円)
	丸岡文化財団に手紙の館の事業運営を委託し、一筆啓上賞や手紙をテーマにした企画展等を実施しました。一筆啓上賞の作品応募数は、例年よりも大幅に増加し、約47,000通となり、夏の企画展である「癒しのアクアリウム展」は大変好評で、約6,000人の来場者となりました。しかし、手紙教室は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため定員を減らし、参加人数が例年よりも減少しました。		14,147
(2) -3	ONOメモリアル管理運営事業	地隔年開催の高校生現代アートビエンナーレをはじめ、現代美術等の企画・育成事業を実施します。	文化課
	主な取り組み実績		予算(千円)
	ONOメモリアルにて、坂井市出身の美術作家 雑賀通浩氏による個展や、高校生による北前船をテーマにした現代アート展を開催し、地元を中心に多くの来館者が訪れました。また、市内小学生を対象にふるさとの風景画を募集する「こどもが描く“ふるさと坂井”絵画展」を実施し、豊かな感性で描かれた多くの作品が出品されました。		5,885

4.<基本計画に対する現状と課題および展開(具体的な事業の実績を踏まえて)>

現状と課題 および展開	(1)【文化財の保存と活用】 (文化課) ・未指定も含めた市内の文化財の総合的・一体的な保存・活用を図るため、「坂井市文化財保存活用地域計画」を作成しました。まちづくりや学校教育・社会教育、観光分野などとも連携して文化財の保存と活用に取り組むことを通して、市としての連帯感、一体感の醸成を目指します。 ・丸岡城の入場者数はコロナ禍の影響を受け、65,753人と目標値の半数となっておりますが、「丸岡城学術調査資料集第2集」を発行しました。丸岡城に関する調査を継続し、城下町や城郭としての文化財的価値を高め、市民への情報共有と周辺の賑わい創出につなげます。 ・みくに龍翔館については、坂井市全体の歴史文化の保存・活用の拠点となる博物館施設として十分に役割を果たしていくため、施設・展示内容の適切な全面改修と、新しい運営方針の確立が課題となっています。地域の歴史文化遺産に関係する資料の集積・保存・調査研究を行うとともに、魅力的な展示や事業展開を通じてシビックプライドの醸成や交流人口の増加を図れるよう、新しい市の博物館として施設整備と新たな運営についての検討を進めます。
	(2)【文化芸術活動の振興】 (文化課) ・少子高齢化の影響により、次世代への担い手不足が課題となっています。若い世代が文化芸術に興味を持ち積極的に参加できるよう、中高生対象の継続的な演劇ワークショップ・発表会事業を実施しました。後継者育成や専門の人材の確保につながるよう取り組んでまいります。 ・みくに市民センターにおいては、9ヶ月間ワクチン接種会場となったため利用は停止され、本来の文化施設としての役割を果たすことができず、地元根付いた施設としては機能を十分に発揮することができませんでした。文化芸術振興の活動を絶やすことなく、共有し継続していけるよう取り組んでまいります。 ・施設の集客向上が求められています。まずは地域への誇りや愛着が持てるよう、手紙の館において小学生を対象とした手紙文化事業を企画実施しました。文化団体との連携を一層深め、施設の利用促進及び周辺の賑わい創出を推進します。 ・ONOメモリアルについては、作家や地元の芸術団体から作品を展示したいという要望への対応や、高校生現代アートビエンナーレをはじめとする継続事業の安定した運営が課題となっています。施設管理や周辺整備・イベントの企画運営について長期的な計画を立て、安定した運営が可能な仕組みを構築していきます。

5.<基本計画に向けた令和4年度から令和6年度間（第2次総合計画前期期間）の具体的な事業の方向性>

No.	事業名	所管課	事業毎効果	今後の方向性
(1)-1	地域計画作成事業	文化課	効果あり	完了
(1)-2	文化財保存管理事業	文化課	効果あり	継続
(1)-3	埋蔵文化財発掘調査事業	文化課	効果あり	継続
(1)-4	丸岡城国宝化推進事業	文化課 (丸岡城国宝化推進室)	効果あり	継続
(1)-5	みくに龍翔館管理運営事業	文化課	将来的な効果あり	継続
(1)-6	みくに龍翔館改修整備事業	文化課	将来的な効果あり	継続
(1)-7	みくに龍翔館資料収集・保存事業	文化課	将来的な効果あり	継続
(1)-8	みくに龍翔館調査研究事業	文化課	将来的な効果あり	継続
(1)-9	みくに龍翔館展示および教育普及事業	文化課	将来的な効果あり	継続
(1)-10	みくに龍翔館観光連携事業	文化課	将来的な効果あり	継続
(2)-1	文化活動支援事業	文化課	効果あり	継続
(2)-2	一筆啓上手紙の館管理運営事業	文化課	効果あり	継続
(2)-3	ONOメモリアル管理運営事業	文化課	将来的な効果あり	改善(見直し)

令和3年度事業分 坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略政策評価シート

1.<基本構想>

3 学ぶ意欲を支えるまちづくり							
数値目標	現状値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標値
コミュニティセンター 年間利用者数	430,930 人 (平成30年度)	224,555 人	275,001 人				450,000人 (令和6年度)
市立図書館年間来館者数	461,682 人 (平成30年度)	221,542 人	342,963 人				480,000人 (令和6年度)

2.<基本計画および方針と基本施策>

3-4 生涯スポーツの振興							
<p>(1)【スポーツ・レクリエーションの振興推進】 ○市民一人ひとりが精神的な豊かさや充実を感じられ、生きがいづくりや体力の向上、健康の保持・増進により、生涯にわたって生き生きとした生活を送ることができるよう、スポーツやレクリエーションなどの生涯スポーツ活動を支援・推進します。</p> <p>(2)【トップアスリートの育成】 ○競技スポーツの向上には、一貫性のある指導体制による選手育成システムの構築が必要であり、トップレベルの競技者や指導者が活動できる環境の整備を推進します。 ○競技スポーツの振興に寄与する団体を支援し、小学生から高齢者まで競技者の段階的な育成を図ります。</p> <p>(3)【体育施設の効率的な管理運営】 ○市内全スポーツ施設の利用状況や管理経費等を総合的に検証したマネジメント計画を策定し、当該計画に基づき適正かつ効率的な施設整備並びに維持管理を行います。</p> <p>(4)【スポーツツーリズムの促進】 ○福井しあわせ元気国体・福井しあわせ元気大会を開催した実績とレガシー（遺産）を活かし、各競技の全国大会や国際大会の開催、トップアスリートの合宿誘致などスポーツツーリズムによる国内外との交流を深めます。</p>							
重要業績評価指標（KPI）	現状値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標値
坂井市民スポーツ祭等参加者延べ人数	9,397人 (平成30年度)	1,166人	497人				11,500人 (令和6年度)
スポーツ推進委員主幹教室・大会参加者数	93人 (平成30年度)	0人	76人				150人 (令和6年度)
関連性の高いSDGsの17目標	3.すべての人に健康と福祉を			4.質の高い教育をみんなに			

3.<具体的な事業とその実績>

No.	事業名	事業内容	所管課
(1) -1	スポーツ大会運営事業	古城マラソンや市民スポーツ祭などスポーツイベントの開催のほか、各種スポーツ大会の運営に対して助成を行い、スポーツの振興を図ります。	生涯学習スポーツ課
	主な取り組み実績		予算（千円） 決算（千円）
	坂井市古城マラソン（中止）、坂井市民スポーツ祭（各種団体競技） 坂井・奥越地区高等学校野球大会運営事業補助金		10,628 5,747
No.	事業名	事業内容	所管課
(1) -2	スポーツ推進委員運営事業	スポーツ推進委員が行うスポーツの実技指導やニュースポーツ教室などの開催を通して生涯スポーツの推進のもと、市民の健康維持と交流を図ります。	生涯学習スポーツ課
	主な取り組み実績		予算（千円） 決算（千円）
	マリン体操、出前ニュースポーツ講座の開催（11回）		2,023 1,382
No.	事業名	事業内容	所管課
(2) -1	スポーツ振興事業	市民に地元の誇りとスポーツ意欲の向上をもたらすトップアスリートの輩出やトップチームを育成するための支援を行います。	生涯学習スポーツ課
	主な取り組み実績		予算（千円） 決算（千円）
	全国スポーツ大会出場激励金 2,516千円（236名（47大会）） スポーツ少年団補助金 4,000千円、地域密着型トップスポーツチーム支援事業補助金 2,000千円		97,993 91,621

No.	事業名	事業内容	所管課
(3) -1	体育施設維持管理事業	体育施設に関するマネジメント計画等に基づき、効率的な管理運営を行います。また、ネーミングライツ等の費用負担を軽減する方策を検討します。	生涯学習スポーツ課
	主な取り組み実績		予算(千円)
	【工事(主要なもの)】 丸岡運動公園テニス場人工芝張替工事 7,997千円、丸岡今市プール解体工事 5,280千円、春江B&G海洋センター体育館照明改修工事 4,804千円、三国運動公園野球場照明設備改修工事89,980千円、 スポーツランド人工芝グラウンド照明設備改修工事 61,160千円 【備品購入】 丸岡フィットネスセンタートレーニングマシン購入 1,386千円、 丸岡中学校屋内運動場収納箱購入 99千円		448,889
No.	事業名	事業内容	所管課
(3) -2	体育施設整備事業	施設の利用状況や利用者のニーズを把握し、計画的に改修や修繕など整備工事を行い、安全で快適なスポーツ環境づくりを進めます。	生涯学習スポーツ課
	主な取り組み実績		予算(千円)
	該当なし		
No.	事業名	事業内容	所管課
(3) -3	ワールドマスターズゲームズ運営事業	誘客力や国際力のある各種全国大会や世界大会を積極的に誘致・開催する「坂井市版スポーツツーリズム」を促進し、スポーツによるまちづくりを目指します。	生涯学習スポーツ課
	主な取り組み実績		予算(千円)
	令和4年5月の開催に向け、市実行委員会の総会開催や公式ホームページ上での情報発信、まちづくり協議会等団体を対象としたディスクゴルフ教室開催など、同競技の普及活動を行った。しかし、新型コロナウイルス感染症の世界的な収束が見込めないことから、開催期間を更に1年間延期し、令和5年5月に開催することを決定した。		2,500
No.	事業名	事業内容	所管課
(3) -4	保健体育事務事業	スポーツ振興の充実を図るための事業を行います。また、各種協議会等に対し負担金を助成します。	生涯学習スポーツ課
	主な取り組み実績		予算(千円)
	「東京2020オリンピック聖火リレー」を、多くの市民ボランティアの協力により開催した。「同パラリンピック採火・集火式」を福井県立嶺北特別支援学校の協力により開催した。「令和3年度全国高等学校総合体育大会サッカー競技会」を坂井市内3会場、福井市内1会場にて開催した。コロナ禍であるため無観客での開催となったが、競技協会等と連携し円滑に大会を開催することができた。		85



4.<基本計画に対する現状と課題および展開（具体的な事業の実績を踏まえて）>

現状と課題 および展開	<p>(1)【スポーツ・レクリエーションの振興推進】</p> <p>（現状）生涯スポーツの推進には、個々の動機や体力・技能のレベルに応じた活動機会を提供することが必要であり、誰もが気軽に参加でき、継続して取り組むことができるスポーツ活動が求められており、市では、市スポーツ協会や各種競技協会と連携して、古城マラソン大会や市民スポーツ祭といったイベントや、各種スポーツ教室などを開催している。</p> <p>また、市スポーツ推進委員会では各種競技協会と連携を図りながらスポーツの普及活動を行い、年齢性別を問わずスポーツの楽しさを伝えている。</p> <p>（課題）児童期にスポーツをする喜びや楽しさを体験し、自発的な運動やチームワークの醸成など子どもの成長に大きな役割を果たしているスポーツ少年団活動は、近年、加入率が低下傾向にある。</p> <p>また、障がい者にも積極的にスポーツに親しむ機会を提供し、障がい者と健常者が共にスポーツを楽しむ機会を提供することで共生社会の実現を促進する必要がある。</p> <p>さらには、高齢化社会の現代において、全ての市民がスポーツ活動を通じて生涯にわたり生きがいづくりや健康の保持増進に取り組むことができる環境の整備が求められている。</p> <p>（展開）コロナ禍の中、丸岡古城マラソン等は中止となったが、坂井市民スポーツ祭の一環としてスポーツ能力測定会を実施するなどイベント型から目的を明確にしたレクチャー型の教室等を今後も実施していく。</p>
	<p>(2)【トップアスリートの育成】</p> <p>（現状）競技スポーツにおける地元選手やチームの活躍は市民に大きな活力と誇りを与え、スポーツを続ける強い動機付けになるとともに、地域の振興や活性化にもつながる。市では、子どもから高齢者までの幅広い年齢層の選手が、県大会、北信越大会、さらには全国大会等に出場して優秀な成績を収めている。これは、本人の努力はもちろんのこと、指導者や家族、地域などの本人の活動を支える環境が整って実現することでもある。</p> <p>（課題）競技スポーツの強化を目指すには、優れた人材の発掘と、経験と熱意を持った指導者の確保及び将来にわたって一貫性のある指導体制を構築する必要がある。 そのためには、各種競技協会や団体と連携し、優れた選手を輩出する環境づくりや育成プログラム作成と実施に取り組むことが重要である。</p> <p>（展開）トップアスリートの育成は主に県単位や県協会の領域であるため、スポーツ導入期の取り組みを充実させていく。</p>
	<p>(3)【体育施設の効率的な管理運営】</p> <p>（現状）坂井市には47の社会体育施設があり、中には福井国体の開催に向けて新たに整備した施設もある。いずれの施設も指定管理者制度により、公益財団法人坂井市スポーツ協会とアクアスポーツ株式会社に管理運営を委託している。</p> <p>（課題）多くの施設で老朽化が進み、修繕や改修が必要な状態である。。また、福井国体の開催に合わせて整備した施設の多面的活用について検討する必要がある。</p> <p>（展開）三国運動公園野球場照明設備改修工事など大規模改修工事等を行ったが、以前として体育施設の多くが老朽化しており、改修および再整備について順次、マネジメント計画に則り進めていく。</p>
	<p>(4)【スポーツツーリズムの促進】</p> <p>（現状）近年、スポーツは、競技スポーツや市民が活動する生涯スポーツにとどまらず、「スポーツツーリズム」とよばれるスポーツを目的とした交流人口の拡大やまちおこしなど、多様な可能性が認められている。そのような中、アジア地域では初となる生涯スポーツの世界最大級の祭典「ワールドマスターズゲームズ」が日本の関西地域を中心に開催され、そのオープン競技として坂井市では「ディスクゴルフ競技」の国際大会を開催する。</p> <p>（課題）ワールドマスターズゲームズの開催を契機として、今後は「スポーツツーリズム」による交流人口の拡大を進めていく必要がある。また、坂井市には多くの宿泊施設がありスポーツ合宿の誘致に適していることから、アクセスが容易な関西や中京圏からの合宿誘致を積極的に行う必要がある。</p> <p>（展開）WMGはコロナウイルス感染症の影響により令和5年に延期としたが、引き続き大会の開催に向けて準備を進める。また、三国運動公園体育施設と丸岡スポーツランドを拠点とした合宿誘致もスポーツ協会と連携して進めていく。</p>

5.<基本計画に向けた令和4年度から令和6年度間（第2次総合計画前期期間）の具体的な事業の方向性>

No.	事業名	所管課	事業毎効果	今後の方向性
(1)-1	スポーツ大会運営事業	生涯学習スポーツ課	効果あり	継続
(1)-2	スポーツ推進委員運営事業	生涯学習スポーツ課	効果あり	継続
(2)-1	スポーツ振興事業	生涯学習スポーツ課	効果あり	継続
(3)-1	体育施設維持管理事業	生涯学習スポーツ課	効果あり	継続
(3)-2	体育施設整備事業	生涯学習スポーツ課	効果あり	継続
(3)-3	ワールドマスターズゲームズ運営事業	生涯学習スポーツ課	将来的な効果あり	継続
(3)-4	保健体育事務事業	生涯学習スポーツ課	効果あり	継続